



もち麦の収穫が始まりました ～大地の恵みに感謝して～



「新品種 フクミファイバー」

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、お知らせしているイベントを中止したり、施設を閉館する場合があります。事前に担当課に問い合わせるか、ホームページなどでご確認ください。

行事予定(6月20日～7月1日)				
月	日	曜日	時間	行 事
6	20	土	11:00	おはなし会
6	27	土	14:00	子ども映画会「スプーンおばさん ハンバーグへ大ジャンプ ほか」
7	1	水	11:00	えほんのじかん
☆7月2日(第1木曜日) 資料整理のため休館				

新 着 図 書

八千種研修センター 図書室

☎22-1564

一般書16冊

- 「流浪の月」 凪良 ゆう
 「関西弁で読む遠野物語」 柳田国男 著 畠中章宏 訳

三木家 de 風鈴づくり 参加者募集

夏といえば風鈴。三木家でペットボトル風鈴をつくりませんか。ペットボトルに絵を描いたり、飾ったり、組立はだれでも簡単にできます。

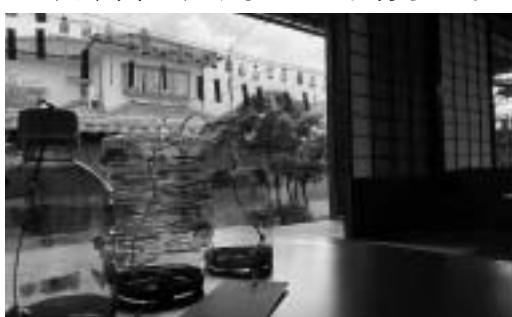
完成作品は、三木家の「手づくり風鈴展」で展示します。

家族そろってご参加ください。作成時間は15分程度。持ってくるものはありません。

■日時 7月11日(土) 9:30～14:00(自由参加)

涼しさ感じる「手づくり風鈴展」

夏のひとときを三木家で過ごしませんか？たくさんの手づくり風鈴が、みなさんをお待ちしています。



■会期 7月11日(土)～8月23日(日)

※土・日・祝日のみ開館

■時間 9:00～16:30(入館は16:00まで)

■会場 三木家住宅(福崎町西田原1106)

■問い合わせ先 社会教育課(内線256)

図書館応援隊を紹介します①

～図書館を支えるひとびと～

★えほんのじかんグループ★

町内の幼稚園や施設等で、絵本の読み聞かせや手遊びなどの活動をするグループです。

図書館でも、0才からえほんを楽しむことができる「えほんのじかん」を開催しています。

活動日

毎月第1水曜日(図書館での「えほんのじかん」)



★おはなしのとびらグループ★

町内の学校や幼稚園を訪問して、えほんの読み聞かせやストーリーテリング(素話)をしています。



図書館でも、4歳くらいから小学生を対象に「おはなし会」を開催しています。

活動日

毎月第3土曜日(図書館での「おはなし会」)

毎月第2木曜日午後(勉強会)

図書館応援隊には14のグループがあり、どのグループも新規メンバー募集中です！

興味を持たれた方は、ぜひ一度活動日にお越しいただくか、図書館へお問い合わせください。

毎年6月23日～29日の1週間は 「男女共同参画週間」です

男性と女性がそれぞれの個性と能力を発揮できる「男女共同参画社会」を実現するためには、政府や地方公共団体だけでなく、みなさん一人ひとりの取組が必要です。



『そっか。いい人生は、いい時間の使い方なんだ。』

『ワクワク・ライフ・バランス』

(2020年度「男女共同参画週間」キャッチフレーズ)

特別定額給付金の申請を受け付けています

新型コロナウイルス感染症経済対策として、特別定額給付金が支給されます。

特別定額給付金の申請書等は、5月18日に発送しています。

特別定額給付金制度の概要

支給対象者	令和2年4月27日に福崎町の住民基本台帳に登録されている人
支 給 額	支給対象者1人につき 10万円
受 給 者	世帯主

申請方法	①郵送申請 (当日消印有効)	②窓口申請	③マイナンバーカードを 活用したオンライン申請
必要な添付書類	1. 世帯主の本人確認書類の写し (免許証、保険証、マイナンバーカードなど の写しを1点) 2. 世帯主の通帳の見開きの写し、あるいはキャ ッシュカードの写しなど	世帯主の通帳の見開きの写し、 あるいはキャッシュカードの 写しなど	
申請受付期間	令和2年8月18日(火)まで ※受付期間終了後の申請は受付できません。		

申請・問い合わせ先 健康福祉課 特別定額給付金係 (内線351・365)

子育て世帯に臨時特別給付金が支給されます

学校等の臨時休業により新型コロナウイルス感染症の影響を受けた子育て世帯を支援する国の取組の一つとして、児童手当受給世帯に臨時・特別の一時金が支給されます。

臨時特別給付金の概要

支給対象者	令和2年4月分（3月分を含む）の児童手当を受給している人 ※児童手当の特例給付対象者（所得制限限度額以上のため、児童1人当たり月額 5,000円の支給を受けている人）は対象外です。
対象となる児童	令和2年4月分の児童手当の支給対象となる児童 ※同年3月分の児童手当の対象となっている児童（4月から新高校1年生となって いる場合等）も対象となります。
支 給 額	対象となる児童1人につき 1万円 ※児童手当で指定している口座に振込
公務員以外の人	申請は不要です。
公 業 員	申請が必要です。詳しくは勤務先の担当部署へお問い合わせください。

※給付金の受給を辞退する場合は、現況届に同封の「子育て世帯への臨時特別給付金受給拒否の届出書」を返送してください。

申請・問い合わせ先 住民生活課 児童手当担当 (内線374)

給付金を装った「振り込め詐欺」や不審な電話・メールにご注意ください
福崎町や国（総務省）から現金自動預払機（ATM）の操作をお願いしたり、
手数料の振り込みを求めるることは絶対にありません。

福崎町特産のもち麦が黄金色にそまっています。今年は、実も大きく多くの収穫が見込まれるのではと楽しみにしていますが、雨が大敵ですので良いお天気が続くことを願っています。

さて、兵庫県に発令されていた緊急事態宣言が5月21日に解除されました。閉館していた町内の公共施設は5月23日以降、準備が整った施設から開館しました。飲食店などのお店も営業時間の制限がなくなり、これから徐々に平常の生活に戻っていくことになります。学校は6月1日から登校がはじまりました。学校に子どもたちの笑顔と明るい声が聞こえないところも私たち大人も元気が出ません。長い休業でしたので子どもたちも先生方も手探りの学校生活となると思います。どうか地域の力で子どもたちを支えてやつてほしいと願っています。

皆さん、一人10万円の特別定額給付金の申請はお済みですか。福崎町ではオンラインと郵便・窓口で申請を受け付けています。オンライン申請の方には5月21日に、郵便・窓口申請の方には5月28日に1回目の振込を行いました。速やかに支給できるよう事務を進めておりますが、申請から振込までには10日ほどかかります。お忘れのないよう申請してください。



第489回福崎町議会
福崎町長 尾崎吉晴

第1・第2グラウンドの愛称を決定しました

『辻川山公園グラウンド』



第1グラウンド

『田原小北グラウンド』



第2グラウンド

利用者の皆さんに親しみを持っていただくため、各グラウンドの愛称を決定しました。健康増進と体力維持のため、多目的グラウンドをぜひご利用ください。なお、グラウンドの使用にあたっては、新型コロナウイルスのクラスター発生リスクを低減させるため、感染防止対策の徹底をお願いします。

申し込み・問い合わせ先 第1体育館（月曜休館）☎22-1153



食育通信 ~『食の安全』田原幼稚園の取り組み~



食物アレルギーは子どもに多くみられる特徴です。園では食物アレルギーのある子どもが安全に食生活を送ることができるような環境づくりを工夫しています。

～給食の配膳について～

- 毎月、給食センターのアレルギー献立表を用いて除去食材を保護者と担任で確認し合っています。
- 専用トレー、ボードなどに目印をつけて職員全体で共通理解できるように取り組んでいます。
- 座席の位置やおかわりの仕方、食後の歯磨きの動線もぶつからないように工夫しています。



「アレルギーやから、これ食べられへん！」と自分から伝えることも食の安全につながります。誰もが安心、安全に食事を楽しめるように、ひとりひとりが『食』への興味と関心をもち、『食』の大切さに気づいてほしいと願っています。



地域の人たちに見守られて
福崎西中学校1年(当時) 宮田理久

「あなたは今、幸せですか?」
「たずねられたら、ぼくは迷わず、
幸せです。」

と答えることができる。なぜなら、家族がぼくを大切に思ってくれているからだ。母は、ぼくの体のことを考えて、ぼくが食べ残した野菜を口まで運んでくれる時がある。寝汗でよがれた時ぼくは、家族から愛されているのだと実感することができる。

でも、世の中にはそういうではない家庭も存在する。これまで児童虐待のことがニュースで流れたり新聞にのつたりしたことが何度もある。最近では、今年

一月に千葉県で起きた十歳の少女の虐待事件が深く心に残っている。少女の気持ちを考えただけで胸が押しつぶされそうになる。きっと少女は、勇気をふりしぶってSOSを出していたに違いない。それなのに、誰も少女の命を助けることができなかつた。ぼくは、この事件のことを知れば知るほど疑問に思うことが出てきて、頭の中がモヤモヤした。だから、スマホや新聞で色々と調べた。すると、日常的に父親の暴言と少女の泣き声が聞こえていたにも関わらず、近所からの通報がなかつたことや、父親が、「保護は拉致だ。」

とうたえるのに対し、児童相談所の職員が不安に感じていたことや、母親自身も父親の暴力によって逆らえない状態だったからSOSを受け止められるよう環境を創っていくことも大切なことだと思う。こうやって自分なりに考えてみると、解決策も色々とあることに気がつく。そして、ぼくたちは、一人で多くの家族の対応をしていると知った。それでは、子どもの話をゆっくりと聞くことは、一人で多くの家族の対応をしていると知った。それでは、子どもの話をゆっくりと聞くことができないとと思う。もっと職員の人数を増やして、子どもたちからのSOSを受け止められるよう

人間関係の地域になることを願っています。

一人一人が、周りの出来事に対して無関心でいることが何よりも、それだけで十分であるとは思えない。母親がDVを受けていたことについては、そばに相談できる人がいるのが一番いいのだが、母親は孤立していたようだ。それならば母親の様子から元気がないことに気付いた同級生の保護者や近所の人たちが声をかけることで、相談できるきっかけになるのではないだろうか。また、児童相談所の職員は、一人で多くの家族の対応をしていても声をかけることで、相談できる

大切であると書いてあった。でも、それだけで十分であるとは思わない。母親がDVを受けていたことについては、そばに相談できる人がいるのが一番いいのだが、母親は孤立していたようだ。虐待は、初めから悪魔の心を持つた人間が起こす事件ではないと思う。でも起こらないのは、他人事だと思わずに見守つてくれる人や相談に乗つてくれる人などが周りにいるからだ。きっと、少女の父親も誰かに止めてほしかつたのではないか。今はぼくが幸せに暮らしていくけれど、少女の父親も誰かに止めてほしかつたのではないか。

田原小学校3年(当時) 藤本優希